

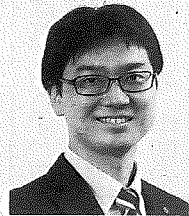
第68回 始まりの年

今年の干支は、「乙巳(きのこみ)」です。「乙」は植物が成長し広がっていき意味を持ち、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら目標に向かっていく力を表しているそうです。「巳」は蛇を意味し、たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルとされています。

さて、いよいよ団塊世代600万人が75歳以上の後期高齢者となり、超高齢社会となる2025年を迎えました。いわゆる「2025年問題」で振り返ると05年の介護保険法改正で「地域包括ケアシステム」という言

介護の未来

2040年に向けて



北村直也社長

「2025年問題」からの10年に備える

葉が初めて使われ、25年以降の少子高齢化対策として、地域住民の介護や医療に関する相談窓口である「地域包括支援センター」の創設が打ち出されました。当時私は、理学療法士として病院に勤務しておりました。地域包括支援センターと関わりながら、公民館で運動教室の開催や通所リハビリ・訪問看護などの介護保険事業者と連携することで、地域包括ケアシステムの一部を担っていました。現在では、介護保険事業者として地域包括ケアシステムに関わっています。千葉県柏市では、市が主体となり、

葉が初めて使われ、25年以降の少子高齢化対策として、地域住民の介護や医療に関する相談窓口である「地域包括支援センター」の創設が打ち出されました。当時私は、理学療法士として病院に勤務しておりました。地域包括支援センターと関わりながら、公民館で運動教室の開催や通所リハビリ・訪問看護などの介護保険事業者と連携することで、地域包括ケアシステムの一部を担っていました。現在では、介護保険事業者として地域包括ケアシステムに関わっています。千葉県柏市では、市が主体となり、

葉が初めて使われ、25年以降の少子高齢化対策として、地域住民の介護や医療に関する相談窓口である「地域包括支援センター」の創設が打ち出されました。当時私は、理学療法士として病院に勤務しておりました。地域包括支援センターと関わりながら、公民館で運動教室の開催や通所リハビリ・訪問看護などの介護保険事業者と連携することで、地域包括ケアシステムの一部を担っていました。現在では、介護保険事業者として地域包括ケアシステムに関わっています。千葉県柏市では、市が主体となり、

商材・サービス

北村 直也 (きたむら なおや)

DSセルリア株式会社  
代表取締役社長 / 理学療法士

18年にDSセルリア(株)取締役に就任。口腔と身体のリハビリに特化したサービス「トータルリハセンター」を首都圏に展開。21年代表取締役社長に就任。理学療法士としての経験を活かし、多くの方にリハビリや口腔の知識や技術を届けたいと、多職種による組織マネジメントに注力している。